



さらがいくみこ
皿谷久美子
公明党

(70分)



医療的ケア児の支援は

問 在宅移行支援は。

答 今年7月に、増加し多様化するニーズに対応するため、本市独自の取り組みとして専門家で構成する会議体を立ち上げた。今後は、病院から在宅へ円滑に移行し身近なかかりつけ医から必要な医療を受けることができる体制の構築



佐久間裕徳
公明党
(40分)

都市再整備事業は

問 駅前広場の今後の具体的な方向性や計画の進め方は。

答 北口広場へのバスターミナル配置については、当面見送ることとした。今後は、議論の焦点を駅前広場の在り方に絞った上で、ふくまちヒロパラボやその他さまざまな団体との意見交換を行う。

築に取り組んでいく。医療や介護などの従事者向けにライフステージごとに必要な支援をまとめたガイドブックを現在作成中である。

男女共同参画の視点を踏まえた防災対策は

問 避難所運営マニュアルの見直しは。

答 今後は、図やイラストを含めた、誰もが分かりやすいマニユアルになるよう見直していく。

*その他、平和行政と子育て世帯の負担軽減について質問しました。

11月に開催予定の広場協議会で新たな計画案を示し、その後、必要に応じ市民の皆さまの意見を聞きながら、年度内に基本計画を取りまとめていく。

公共交通は

問 路線バスの利用促進は。

答 12月に実施する路線バス100円2ウィークスの目的は、乗車から支払いまでを体験していただき、路線バスを利用するきっかけをつくり、普段利用しない人の行動変容を促すことにある。



野村志津江
公明党
のむらしずえ
(60分)

観光振興は

問 食の魅力づくりは。

答 本市ならではの食には、うずみや備後フィッシュを使った魚料理、市内で醸造された日本酒やワイン、そして関東煮を加えて8品目となった福つまみなどがある。おいしい！広島プロジェクトへも参加しPRを行ってきた。今後県



小林 聡勇
公明党
こばやし あきお
(55分)


外国人住民との共生社会は

問 地域活動へ外国人住民の参加を促進するための取り組みは。

答 本市の外国人住民は今年8月末現在で1万2601人であり、今後さらに増加が見込まれる。今年6月に、多文化共生地域連携協議会を立ち上げ、日本語教育や生活面の支援を、地域、教育、就労

外での試食会などを通じて福山ならではの食の魅力を高めていく。

福山市水道通水
100周年記念事業は

問 次の100年に向けた取り組みの方向性は。

答 施設を健全な状態で将来へと引き継ぐための着実な投資と持続可能な経営基盤の確立に向けて全力で取り組み組んでいく。



福山市のキャラクターだゅありー



福山市の
水道キャラクター
ぴゅありー

の各分野で進めることとしている
地域日本語教室での交流を通じた
地域活動への参加などに加え、昨
年度、多文化共生地域理解講座を
3学区でモデル的に開催した。や
さしい日本語を学ぶ講座や外国人
を交えたワークショップ形式によ
る交流を行い、防災訓練や地域行
事への参加にもつながるなど成果
が見られた。

